



ソリンさんが高村市長を表敬訪問



【左から：二ノ宮会長、ソリンさん、ミレラさん、高村市長】

今まで不在となっていた、英会話サークルの講師としてソリン・イオナスクさんが姉妹都市のフランクストン市から見えました。

来日後の3月8日にさっそく、奥さんのミレラさんと一緒に高村謙二市長を表敬訪問し、市長からは、ようこそ裾野市へお越しくださいました。一日も早く裾野の生活になれ、裾野市を楽しんでくださいとありました。

ソリンさんは根っからの日本通で、いままで4回の来日経験もあり、姉妹都市として、世界に裾野市、日本を紹介・発信をしてほしいものです。今後に、大きな期待が寄せられています。

英会話サークル ~ 随時募集しています ~

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
10:00~11:30 一般 (1~2名) ¥4,000	10:00~11:30 一般 (2~3名) ¥4,000	10:00~11:30 一般 (1~2名) ¥4,000	10:00~11:30 一般 (1~2名) ¥4,000	10:00~11:30 一般 (4~5名) ¥4,000	10:00~11:30 一般 (4~5名) ¥4,000
	17:00~17:50 小学4/5/6年 (5名) ¥4,000		13:00~14:30 一般 (1~2名) ¥4,000		
			17:00~17:50 小学4/5/6年 (5名) ¥4,000		
19:30~20:40 中学生 (5~6名) ¥4,000	19:30~21:00 一般 (4~5名) ¥4,000	19:30~21:00 一般 (1~2名) ¥4,000	19:30~21:00 一般 (1~2名) ¥4,000		



※かつこ内は募集人員です。
※希望者は裾野市海外友好協会事務局TEL993-9695(月・水・金13:00~16:00)にご連絡下さい。
月謝の他に裾野市海外友好協会年会費が必要となります。

最優秀賞は白岩花音さん(不三聖心中学校)

「英語スピーチコンテスト・日本語スピーチ」

市民に英語に親んでもらい、国際的な視野を広げてもらおうと、2月6日に、裾野市海外友好協会主催の「英語スピーチコンテスト・日本語スピーチ」が、市生涯学習センターで開かれました。

このコンテストは今年で33回を迎え、市内の中学校から男女16名と外国人4名が英語と日本語で発表しました。英語スピーチコンテストでは、中学生が自分たちの夢、部活の仲間や地域の人たちなどとのコミュニケーションの大切さ、地域の歴史や文化などを見直すこと、世界や平和について考えたことなどのテーマでしっかりとした発音で、表現力豊かにして発表していました。

また、日本語スピーチでは、中国・タイ国・メキシコ・ペルーの皆さんが、日本で生活していて感じたことなどを述べていました。

発表の後、平成27年度短期派遣事業に参加した小中学生たちが姉妹都市フランクストン市での体験などを発表しました。

- 審査の結果 最優秀賞 白岩花音さん(不三聖心中学校3年)「A Sense of Consideration」、
- 優 秀 賞 小野田にいなさん(須山中学校2年)、原 聡志さん(東中学校2年)



【熱弁の白岩さん】

A Sense of Consideration

Fuji Sacred Heart Junior High School
Kanon Shiraiwa

What would you do if you found a lost article? I think most of you would take it to the police without hesitation. Actually, last year, I did find a wallet left on the bus. And I returned it which seemed like the natural thing to do. I once heard that Japanese people have a good reputation for being honest and handing in lost items. So I did a bit of research and I was right. According to some statistics, in Japan last year, 95,000 out of 100,000 people got their missing mobile phones back after they had lost them.

So, why does this happen? Maybe it's because when we Japanese people find a lost article, we know the owner will be worried and troubled about it and we know that they will certainly go to the police office to see if anyone handed it in. So we feel a responsibility to help

them. However, I've heard that, in some other countries, it is not considered a shared responsibility. This is because in western countries people are brought up to be more independent. It made me think, that Japanese culture has a different and even maybe a unique sense of consideration.

Japanese people are well-known around the world for showing their consideration of others. My friends in America mentioned that Japanese people will often say "sorry" instead of "thank you". For example, when a Japanese person asks others to let them pass in a crowded train, they'll say "sorry", whereas an American person will say "thank you" in the same situation. In other words, Japanese people apologize because they might have caused the other person some trouble whereas American people simply show appreciation.

So, what explains such a difference? My opinion is that many Japanese learn consideration as a member in one of Japan's many small community environments. Japanese culture does not emphasize people acting as an individual. Instead, we make many rules and manners in order to create order and balance in a community. In other words, group principles are very important. We learn how to read other peoples' minds when we are living in a group, and to act according to what is considered appropriate, so as to keep a balance and not to cause any conflict

Many examples of this can be found in Japanese literature which show the Japanese way of being selfless and unselfish. For example, think about the old couple in the story of "Hanasaka-Jisan." In this story even when another old couple kill Hanasaka-Jisan's beloved dog or steal away his miraculous mortar, they do not take revenge. On the other hand, the other old couple are always envious and follow their selfish desires every time something happy happens to Hanasaka-Jisan. I think Hanasaka-Jisan's unselfishness is an example of this most beautiful Japanese spirit. It emphasizes the importance of not showing or following one's own desires.

In this way, it is natural part of our culture to consider others. And as we meet people from around the world I think it is a part of our culture we can be very proud of.



【普段の練習の成果が実ります。】



【短期派遣事業の体験を発表】

平成28年度「小中学生オーストラリア夏休み短期派遣」募集中

平成28年度も夏休み短期派遣事業を行うことになりました。

この事業は市内の小中学生が、姉妹都市のフランクストン市で、ホームステイをしながら現地の小学校に通い、異文化に触れることで、将来の国際性を育もうと期待するもので、今回で5回目となり、小中学生の間では、かなり定着してきました。

平成28年度の滞在はすべてオーストラリアを予定しており、南半球の冬の生活が満喫できることと、期待が寄せられています。

- 派遣期間 / 平成28年8月9日(火)~19日(金)までの11日間
- 募集内容 / 市内の小中学校に通学する児童・生徒
小学生: 4名、中学生: 6名
- 選 考 / 募集が終了次第、面接などにより派遣生を決定します。
- 費 用 / 20万円程度(内10万円を補助します。)
- 滞在場所 / オーストラリア フランクストン市(派遣期間中にシドニー旅行も予定)
- 通 学 校 / フランクストン市 デリンヤ小学校



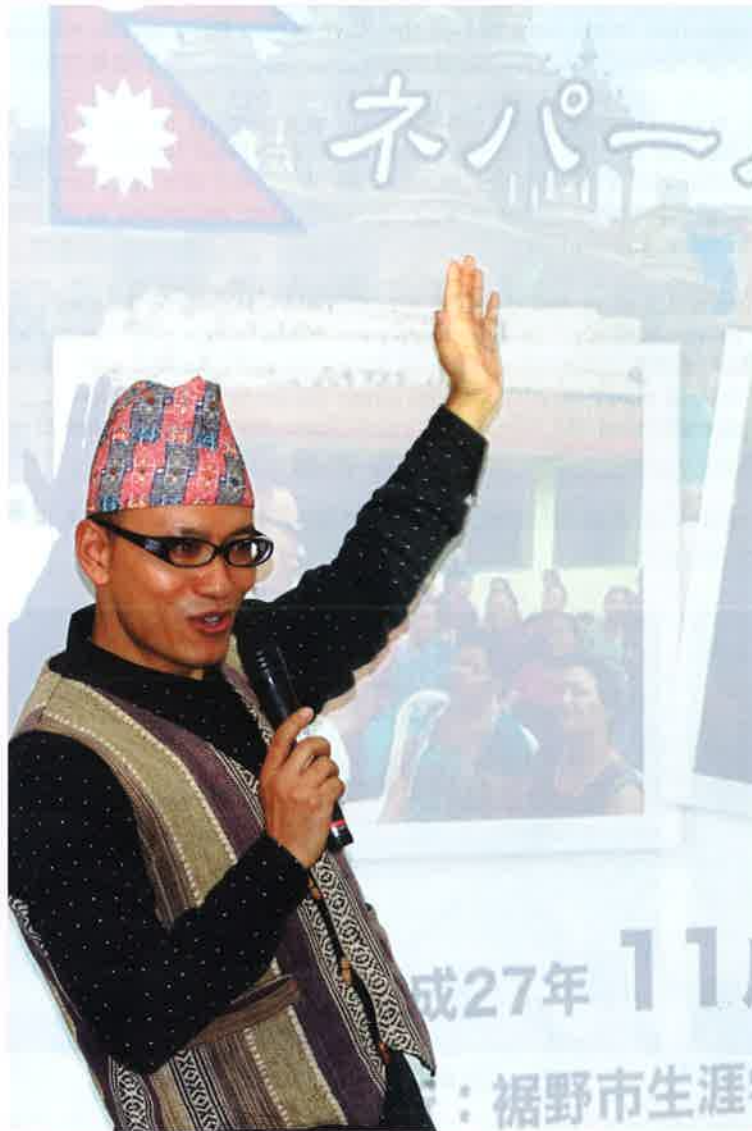
【一緒にブーメラン作り】



【自己紹介も終わり、お友達になりました。】

平成28年度

総会が開かれます



平成27年度も終わり、この4月から新たな年度がスタートします。4月17日からは、姉妹都市フランクストン市で開かれる「ジャパニーズ・フェスティバル」を皮切りに様々な行事が予定されています。

そこで、多くの皆さまには総会にご出席いただき、今後のSOFAIについてのご意見をいただきたく思います。

総会終了後に、昨年の11月に国際交流サロンでネパールについてお話をしていただいた、ナレス・マハラジャンさんを再度お招きして、ネパールのその後について、お話していただきます。多くの会員の方のご参加をお待ちしています。

■ 期 日／平成28年5月29日(日曜日)
午後1時30分～

■ 会 場／裾野市民文化センター
35.36 会議室

【ナレス・マハラジャンさんから、
ネパールのその後について、
ご講演いただきます。】



Susono Overseas Friendship Association

ネパール大使館から感謝状が届きました



昨年の8月に開催した、「第9回日韓交流チャリティーコンサート」でネパール震災支援のための募金9万7,999円を関係当局にお贈りしたところ、昨年の12月に、ネパール大使館からその感謝状が届きました。

裾野市海外友好協会では、これからも各種国際支援のためのチャリティー活動を進めてまいります。機会あるごとに、皆様のご支援をお願いいたします。

編集後記

4月17日フランクストン市で開催される、「ジャパニーズ・フェア」に参加するため、出かけてきます。次号はいっぱいの写真で、姉妹都市を紹介したいと思います。風邪に注意ですね！

編集者 hi-nose